

1 【別紙5】＜監査業務支援ツールによる情報保存管理体制のチェック(例示)＞

2 ①監査役は、情報保存管理体制について、以下に列挙する重大なリスクに対応している  
3 か否かを監査上の重要な着眼点として、監視し検証する。

- 4 ・重要な契約書、議事録、法定帳票等、適正な業務執行を確保するために必要な文書  
5 その他の情報が適切に作成、保存又は管理されていない結果、会社に著しい損害が  
6 生じるリスク
- 7 ・重要な営業秘密、ノウハウ、機密情報や、個人情報ほか法令上保存・管理が要請さ  
8 れる情報などが漏洩する結果、会社に著しい損害が生じるリスク
- 9 ・開示される重要な企業情報について、虚偽又は重大な欠落があるリスク

10 ②監査役は、情報保存管理体制が前項に定めるリスクに対応しているか否かについて、  
11 以下の事項を含む重要な統制上の要点を特定の上、判断する。

- 12 ・代表取締役等が、会社経営において情報保存管理及びその実効的体制の構築・運用  
13 が必要不可欠であることを認識しているか。
- 14 ・情報の作成・保存・管理のあり方に関する規程等が制定され、かつ、当該規程を有  
15 効に実施するための社内体制が構築・運用されているか。
- 16 ・取締役会議事録その他法定の作成資料について、適正に内容が記録され保存される  
17 社内体制が構築・運用されているか。
- 18 ・保存・管理すべき文書及び情報の重要性の区分に応じて、適切なアクセス権限・保  
19 存期間の設定、セキュリティ・ポリシー、バック・アップなどの管理体制が構築・  
20 運用されているか。
- 21 ・個人情報ほか法令上一定の管理が求められる情報について、社内に対して、当該法  
22 令で要求される管理方法の周知徹底が図られているか。
- 23 ・会社の重要な情報の適時開示、IR その他の開示を所管する部署が設置されているか。  
24 開示すべき情報が迅速かつ網羅的に収集され、法令等に従い適時に正確かつ十分に  
25 開示される体制が構築・運用されているか。
- 26 ・情報保存管理に関して定められた規程及び職務分掌に従った管理がなされているか。
- 27 ・情報保存管理の状況を監視するモニタリング部門が存在し、会社の情報保存管理に  
28 係る問題点が発見され、改善措置が講じられているか。
- 29 ・情報保存管理の実効性に重要な影響を及ぼしうる事項について、取締役会及び監査  
30 役に対して定期的に報告が行われる体制が構築・運用されているか。
- 31 ・内部通報システムなど情報保存管理に関する状況が業務執行ラインから独立して把  
32 握されるシステムが構築・運用されているか。